



2023-2024 年度主題
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)
 “Let Your Shine”
 主題 「輝かそう、あなたの光を」
 スローガン “Good Communication Is the Cornerstone
 in Every Cooperation”
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越)
 主題 “Be the light for change”
 「変革のための光となろう」
 スローガン “Shine and empower through fellowship”
 「親睦を通して、輝き、力を得よう」
 東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)
 主題 “Instil Confidence in our Youth!”
 「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
 スローガン “Youth Empowerment through SDGs Youth Action”
 「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
 湘南・沖縄部長 黒川 勝 (金沢八景)
 「楽しく・元気よく・前向きに」
 クラブ会長 久保 勝昭
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



挑 戦 !!

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2023年7月13日(木)キックオフ例会を無事終える事が出来た。総会における議案も問題なく可決されたが今回、役員に副会長を設けた以外は目新しいものはなかった。自分で最終判断をし、決めているので進展がなかった事は大いに反省している。コロナ禍という事も多小影響していたが、2019年12月までの活発に活動していたころの状態までに戻すには、まだまだ時間が掛かりそうである。クラブのメンバーは「歌を唄う」ことが好きな人が多い。2021年から始めた例会の中に「歌」を取り入れたのは、手前みそになるが良かったと思っている。ただ活動方針に書いておいたが、財政的にはかなり逼迫している。多少余裕のある運営をして行くにはファンディングに力を注がなければならない。色々なやり方は有ると思うがやはり「歌」の力を借りるのが良いと思い従来からやっている「歌の広場」に全力で練習に励んでいる。いつかのブリテンにも書いたが以前からやっていた曲数の多さでなく曲の内容やエピソードを取り入れ参加者の曲に対する注目度を重視したい。9月にある所で歌の広場を開く機会を与えられたので、今から準備するうえで、このブリテンに何曲か選曲し、内容やエピソードを書いて頭に入れておきたい。

☆峠の我が家：(Home on the range) は 19 世紀に発表されたアメリカのカウボーイソング「Range」とは主にアメリカで見られる牧場(放牧場)のこと。

☆テネシーワルツ：1948年に出版されたアメリカのポピュラー/カントリー歌曲。1950年にパティ・ペイジがカバーしたものがミリオンセラーとなった。

☆山谷ブルース：フォークの神様と言われた岡林信康 1968年の作品。

☆この広い野原いっぱい：1967年1月2日にリリースされた日本のフォークソング。

作詞：小園江圭子 作曲：森山良子 「時間が無かったので15分か20分で作曲」した。

☆街の灯：1973年、堺正章が歌い上げた、阿久悠の文学的ともいえる歌詞が素晴らしい。

☆見上げてごらん夜の星を：1960年初演のミュージカル「見上げてごらん夜の星を」は永六輔・いずみたくが制作、公演した和製ミュージカルの先駆的作品。

2023年7月21日(金)鶴見区福祉保健活動拠点(社協)多目的ホールにおいて、ボランティア・市民活動団体分科会交流会が開催された。クラブより久保、渡邊、中村、が参加した。この日は、それほど暑くなく、いつもは午後の早い時間に始まるが、会員の希望により(仕事をしている人が出席出来るように)18:30~20:00の時間帯で開催された。参加人数は19名と、殆ど昼間と変りはなかった。議題は(1)協力依頼：赤い羽根共同募金「街頭募金活動」について

(2)自己紹介「分科会に期待すること」

(3)共有「コロナ禍における活動の課題と今後の展望」：グループ発表

☆赤い羽根共同募金「募金活動」10月1日(日)2日(月)8月の例会で参加者募集

☆自己紹介・つるみクラブを含め8サークル/36サークルの紹介があった。

☆分科会に期待する事、今後の展望に関しては、3グループに分かれ意見交換をおこなった。多くの意見が出されたがまとめ返は、いたらなかった。

《つるみクラブ7月定例会》

7/13(木)16:00~18:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ

出席者：久保会長、渡邊副会長 久米、島田、
新改、中村、野辺、日野、松井、
横山、吉本

欠席者：駒井

プログラム

司会進行 渡邊光枝 ピアノ：吉本正子

1. 開会点鐘(会長)

2. 会長挨拶

報告事項

1. 6/19(月)エクステンション委員会 久米
横浜 YMCA ハイブリット ZOOM

2. 6/24(土)15:30 2022~23年度第3回
湘南・沖縄部評議会 とつかYMCA

- ①号議案：湘南・沖縄部会員増強支援規則
 - ②号議案：2023~24年度部長方針と事業計画(表)
 - ③号議案次期部役員 ※賛成多数で全て可決
- 「YMCA 報告」島田所長ご挨拶

- 1. ちょこっと助け隊
- 2. 横浜 YMCA

☆2023年度第1回つるみクラブ総会☆

総会議長選出(会長が議長となり司会・進行を務める)

審議事項

- 1号議案 2022~2023年度事業報告・会長
- 2号議案 会計報告・会計 久米
- 3号議案 会計監査 新改
- 「議長解任」 司会
- 4号議案 2023~2024新役員候補選出(案)
会長：久保、副会長：渡邊、書記：中村

この案に賛成の方は拍手をお願いします。

5号議案 2023~2024年度活動方針(案)

6号議案 年間行事予定(案) 中村

7号議案 予算案) 久米

「連絡事項」

イ. 7月21日(金)ボランティア市民活動団体
分科会交流会 時間：6時30分

場所：鶴見区福祉活動拠点2階 多目的ホール

ロ. 8月10日(木) つるみクラブ例会

時間：4時~6時

場所：鶴見中央地域ケアプラザ多目的ホール

ハ. 8月24日(木) 横浜ワイズメンズクラブ

納涼会 6時~8時 会費¥6,000

場所：ロイヤルホールヨコハマ

電話：045-641-1122

【おたのしみプログラム】

うたごえ広場

(ピアノ：吉本正子 ギター：久保勝昭)

曲目：JAMBALAYA(手拍子で盛り上げる)

- ①花は咲く ②峠の我が家 ③テネシーワル
- ④A MANSION ON THE HILL
- ⑤山野ブルース ⑥この広い野原いっぱい
- ⑦街の灯 ⑧見上げてごらん夜の星を

「閉会点鐘」 (集合写真)

《「ちょこっと助け隊」7月定例会》

7/14(金)15:00~16:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ地域ケアルーム

出席：7名

★7月の活動報告

7/04 佃野町 草むしり

7/06 寺谷 通院同行

// 鶴見中央 掃除

7/08 鶴見中央 ポードゲームの相手

7/11 鶴見中央 マスキング

7/13 鶴見中央 棚組み立て、コインランドリー

// 寺谷 通院同行

★依頼と検討

7/18 鶴見中央 エアコン、換気扇掃除

7/21 鶴見2 通院同行

7/26 鶴見2 色々な掃除、植木の水やり

7/27 寺谷 通院同行

8/28 鶴見2 通院同行

★その他

①剪定備品追加購入について
伸縮刈り込みハサミ、草刈り用の小鎌

②6/24 鶴見川ゴミ拾いウォーク

③男性シニアの会

6/27 崎陽軒 16名参加

7/20 東芝未来科学館見学 12名参加予定

8/24 モルック・ボッチャを楽しもう

次回：8月は定例会休み

(2023年7月 データ)

在籍会員数	例会出席者数		出席率
12名	メンバー	11名	92%
	ゲスト	0名	
	合計	11名	

今後の行事予定

- 2023/08/10(木) 16:00~18:00
「つるみクラブ定例会」
鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール
- 2023/08/26(土) 14:00~16:00
「つるみクラブ第二例会」
神奈川区子安通「つるみクラブ事務所」



～鶴見活動報告 鶴見川ゴミ拾いウォーク～

海洋ごみの70%は、町のごみが川を通して流れ出ると言われております。海洋ごみを減少させるために、川のごみを無くすことが一番の近道であることを理解するため、本日、鶴見川のゴミ拾いを実施しました。参加者は、ちょっと助け隊、つるみワイズメンズクラブ、鶴見大学の学生さん、豊岡小学校、鶴見中学校からチラシ回覧を見てくださった方、鶴見区役所からご家族で4名の方にもご協力いただき、合計22名で実施しました。



ゴールの生麦河口干潟まで拾い歩き、回収したゴミの量は、14.3 kgでした。

・「燃やすごみ」	9.5 kg
・「ペットボトル」	1.4 kg
・「缶」	1 kg
・「びん」	1.4 kg
・「プラ」	1 kg
<u>合計</u>	<u>14.3 kg</u>

SDGSの環境保護のことを考える機会として、身近にできることから、みんなで取り組んでいくことの大切さを実感した1日でした。

鶴見中央 YMCA 島田 徹

～メンズシニアの会～東芝未来科学館見学～

鶴見中央地域ケアプラザでは、メンズシニアの会を実施しております。この会は60歳以上男性限定で定期的に居場所作り場をつくっております。今回は東芝未来科学館に行きました。男性限定の会ですが今回は女性参加ありで実施いたしました。



昭和の三種の神器 テレビ・冷蔵庫・洗濯機の第1号機などが展示され懐かしさを感じました。メンズシニアの会は定期的に実施しております。皆でやりたいことを企画し楽しい居場所づくりしております。是非、お越しください。お待ちしております。

(鶴見中央地域ケアプラザ 横山 裕二)

2022/7/1~2023/6/30迄の活動記録

2023年

2022年	1/12(木)つるみクラブ定例会
7/1(金)生麦地域ケアプラザ打ち合わせ	1/13(金)「ちょこっと助け隊」定例会
7/8(金)「ちょこっと助け隊」定例会	1/28(土)つるみクラブ活動打ち合わせ
7/14(木)つるみクラブ定例会	2/8(水) あいねっとパネル作成
7/23(土)湘南・沖縄部 第1回評議会	2/9(木)つるみクラブ定例会
9/6(火)YY協議会 オンライン会議のみ	2/10(金)「ちょこっと助け隊」定例会
9/8(木)つるみクラブ定例会	2/11(土)2022年度会員大会~ピースフォーラム~
9/9(金)「ちょこっと助け隊」定例会	2/11(土)日下部美幸さん葬儀に役員で参列
9/29(木)多摩川スカイブリッジウォーキング	2/18(土)第17回鶴見・あいねっと推進フォーラム
10/13(木)つるみクラブ定例会	3/7(火)第97回YMCA-Y's協議会
10/15(土)第25回横浜YMCA国際ナショナル・チャリティーラン	3/9(木)つるみクラブ3月定例会
10/22(土)東日本区第26回湘南・沖縄部部大会	3/10(金)「ちょこっと助け隊」定例会
10/28(土)つづきクラブ移動例会に参加 場所：三浦半島	3/16(木)第5回ボランティア・市民活動団体分科会
11/2(水)・3(木)北YMCAまつりの応援	4/12(木)つるみクラブ定例会
11/5(土)第2回東日本区役員会議報告	4/14(金)「ちょこっと助け隊」定例会
11/10(木)つるみクラブ定例会	5/11(木)つるみクラブ定例会
11/11(金)「ちょこっと助け隊」定例会	5/12(金)「ちょこっと助け隊」定例会
11/12(土)つづきクラブYou&Iコンサート	5/18(土)ボランティア・市民活動団体分科会
11/24(木)10:00~11:30 《第3回ボランティア・市民活動団体分科会》	5/22(月)エクステンション委員会 ZOOM
11/25(金)・26(土)第22回日本YMCA大会・国際青少年センター YMCA 東山荘 ※久保会長表彰を受ける	5/26(金)北Y・つづき・つるみ 三者交流会
11/26(土)湘南・沖縄部第2回評議会	5/27(土)YMCA 会員総会 リモート参加
12/6(火)第96回YMCA-Y's協議会オンライン会議	6/3・4(土・日) 第26回東日本区大会 会場：APIO 甲府 8 山梨県 久保会出席
12/8(木)つるみクラブ定例会	6/6(火)YMCAとワイズの協議会
12/9(金)「ちょこっと助け隊」定例会	6/8(木)つるみクラブ定例会
	6/19(月)エクステンション委員会 ZOOM 毎月1回開催していたが、今回で終了
	6/24(土)鶴見川ゴミ拾いウォーク
	6/24(土)湘南・沖縄部第3回評議会



“第九の思い出”

毎月の例会で最後にお楽しみプログラム「歌の広場」ということで、数曲全員で歌を歌うのですが、その時思い出すことがあります。

いまから27年前、一般的に今でも年末の恒例である第九の合唱に参加しました。ある記念イベントが開催されることになりそれが「あなたと歌う、第九」でした。

7月から12月まで毎週一回2時間のレッスンが始まりました。最初はパートごとにわかれ日本語で譜面を見ながら歌うので楽しく張り切っていましたが、しばらくして本番ではドイツ語で譜面も見ずに歌うことが判明しました。

ビックリしたと同時に自信がなくなりました。周りの人たちも驚いていました。途中でくじけそうにもなりました。そしてレッスンが進み大詰め近くになって、どうにかドイツ語をマスター、リズムも覚え、歌えるようになりました。しかし途中で各パーツごと少しずつずれて歌う部分があり、その時は引きずられそうになり最後まで苦労しました。

最後の練習日は本番と同じ著名な指揮者の本名徹二さんと各担当楽器の著名な方達のフルオーケストラでレッスンが行われ、当日は当然リハーサルも行われました。

そしてサントリーホールにて500名以上の観客を集めて、コンサートがスタートしました。緊張しましたが曲が進行していく内に落ち着くことができました。

ついに合唱コーナーが始まり、なんとか自分なりに上手くいったと思います。

途中盛り上がった部分で感動して声がうわずった気がしています。これが最初で最後の大舞台での出来事です。今でもその感動は忘れません。

(野辺 良一 記)